# 東京 11R 第26回 エプソムカップ(GIII)

3歳以上 オープン (国際)(指定) 別定 芝1800 発走 15:45

| 枠 | 馬番 | 馬名 | 父 | 母(母の父) |
|---|---|---|---|---|
| 桃8 | 18 | ミストラルクルーズ | エルコンドルパサー | ミスティーダンス(サンデーサイレンス) |
| 桃8 | 17 | ナスノストローク | エアジハード | ファインドレス(ドクターデヴィアス) |
| 桃8 | 16 | トウショウウェイヴ | ステイゴールド | スパークトウショウ(ニッポーテイオー) |
| 橙7 | 15 | エリモエクスパイア | スキャターザゴールド | エリモブラウニー(コマンダーインチーフ) |
| 橙7 | B 14 | カンファーベスト | アンバーシャダイ | カタリナラビット(シンザン) |
| 橙7 | 13 | ショウナンラノビア | フレンチデピュティ | ショウナンアクシア(ヘクタープロテクター) |
| 緑6 | 12 | ヒカルオオゾラ | マンハッタンカフェ | クライウィズジョイ(トニービン) |
| 緑6 | 11 | キャプテンベガ | サンデーサイレンス | ベガ(トニービン) |
| 黄5 | 10 | ダイシングロウ | ダンスインザダーク | コウユーラヴ(ジェイドロバリー) |
| 黄5 | 9 | メイショウレガーロ | マンハッタンカフェ | コッコレ(カースンシティ) |
| 青4 | 8 | シンゲン | ホワイトマズル | ニライテイハート(サンデーサイレンス) |
| 青4 | 7 | トーセンクラウン | オペラハウス | サンデーブレーヴ(ダンシングブレーヴ) |
| 赤3 | 6 | ニルヴァーナ | サンデーサイレンス | ニキーヤ(ヌレエフ) |
| 赤3 | 5 | ホッコーパドゥシャ | マヤノトップガン | ネスカベミユーズ(ヤマニンスキー) |
| 黒2 | 4 | アーネストリー | グラスワンダー | レットルダムール(トニービン) |
| 黒2 | 3 | ライムキャンディ | タニノギムレット | マルカキャンディ(サンデーサイレンス) |
| 白1 | 2 | マストビートゥルー | オペラハウス | ホッポウマリア(アンバーシャダイ) |
| 白1 | 1 | チョウサンデイ | エイシンサンディ | チョウハッスル(ラストタイクーン) |

## 本紙の見解

《本格化気配が十分の◎ ○▲主力の流し馬券》

休み明けの前走新潟大賞典を制したシンゲン。直線は余裕十分に抜け出し、後続に3馬身差。1分56秒9、上がり33秒6も申し分なく、完全に本格化なったとみていい。もともと東京芝千八は2戦2勝の得意条件。年齢を加えた今なら変にテンションが上がる危険性も少なく、重賞連勝の公算は高い。地力十分ヒカルオオゾラが強敵。【単有望】

11R 馬単: 8⇄12 8⇄11 8⇄4 12⇄11 8⇄13 8⇄5 8→10

3連単フォーメーション: 1着 8 / 2着 4 5 10 11 12 13 / 3着 4 5 10 11 12 13 (30点)

## レース展開

⑥や⑨も強引に行くタイプではなく、ショウナンのマイペースまでである。差しやすくなった馬場でも天候微妙。前残り注】

スローペース

## うまやのはなし

①チョウサンデイ〔着か〕 ○吉岡師‖先週ビッシリ追い切ってほぼ仕上がったし、輸送もあるから今週の稽古は馬なり。久々でどうかだね。

②マストビートゥルー〔好走も〕 ○加用師‖攻めは地味だが、実戦に行ってしぶとい。短期放牧を挟んだが引き続きいい状態を保っているし、ここも楽しみ。

③ライムキャンディ〔着なら〕 ○助田助手‖前走案外だがそう負けていないし、間隔があいていたことを考えれば悪くない。今度はもっとやれていい。

④アーネストリー〔圏内〕 ○佐々木晶師‖脚元の不安が解消して、近走の中で一番いい状態。今度は変わってくれるはず。

⑤ホッコーパドゥシャ〔押さえ〕 ○村山師‖前回は内で脚をためることができた。その後はいったん放牧に出してここ目標に仕上げてきた。前走内容が良かったし、ここも終いを生かせれば。

⑥ニルヴァーナ〔入着級〕 ○村本助手‖叩きつつ確実に状態アップ。前走内容も決して悪くないし、距離短縮も好材料。

⑦トーセンクラウン〔着なら〕 ○斉藤助手‖やはり忙しかった前回だが、控えすぎて馬の気持ちが抜けてしまった感じも。デキ落ち見られないし、スムーズに流れにのれれば……。

⑧シンゲン〔連勝可〕 ◎斎藤助手‖前走は抜け出す脚が速く、完勝と言える内容。気性が成長して折り合えるし、馬群で我慢が利くようになって、切れ味が増した印象だね。好調維持、極端にイレ込まなければ。

⑨メイショウレガーロ〔差なし〕 ○小島助手‖十分過ぎるほど乗り込み、直前の稽古でも最後まで集中して走っていた。精神的な成長も感じられるね。去年のこのレースは大敗しているが、今年はあんなことはないよ。

⑩ダイシングロウ〔好走も〕 ○松田博師‖前回は勝ち時計が速すぎて厳しかったようだ。少し太いが、追い日はビシッとやって悪くない動きだったから。

⑪キャプテンベガ〔連下級〕 ○松田博師‖坂路で15～15を乗ってから追い切った。落ち着いて走っていたし、最近は実戦でも折り合いがつくから。

⑫ヒカルオオゾラ〔好走可〕 ○池江寿師‖前走案外だが、あれが力だとは思っていない。攻めは相変わらず動くし、跨ったジョッキーも好感触をつかんでくれたよう。ここは改めて。

⑬ショウナンラノビア〔押さえ〕 ○岡田師‖以前と違って腰がしっかりしてきた。コンスタントに千六1分33秒台で走っているように能力があるし、折り合いがつくから距離は大丈夫。

⑭カンファーベスト〔着まで〕 △佐藤助手‖順調に使えるのは何よりだが、年齢的に大きな上積みは望めないからね。いい意味でのうるささは出てきたが、一変までとなるとどうかな?

⑮エリモエクスパイア〔着なら〕 ○大久保龍師‖叩き良化タイプで、使うごとに状態は良くなっている。前進は見込めるはず。

⑯トウショウウェイヴ〔再注目〕 ○大久保洋師‖今回は坂路で思い通りの調整。状態ひと息だった前回とは違い、抜群の実績ある東京と思うし、能力に改めて期待。

⑰ナスノストローク〔着まで〕 ○加用師‖最近はマイル中心に使っているが、千八も守備範囲。久々でどうかだが、放牧先でも乗り込み、仕上がりは悪くない。

⑱ミストラルクルーズ〔連穴〕 ○鈴木助手‖前回は直線で前が壁、追えない場面があったからね。雰囲気が良くなってきたし、ひと叩きの効果は十分。広いコースに変わるのもプラスだね。

輸入・持込馬の父【イクスプロイト】 ノーザンダンサー系ストームキャットの直仔 ダ7～8.5ハロンの米GII2勝 米6戦5勝

## 血が駆ける 山野浩一

北海道競馬では4月から2歳戦が始まっているが、それらのレースをインターネットで観戦するのが楽しい。今年からはスーパーフレッシュチャレンジという南関東の新馬戦よりも高賞金のエリート新馬戦ができたので、そちらを勝ってから南関東へ移るか、JRAの2歳重賞を狙うという馬も多くなってきたように思う。特に育成設備の整った大手牧場にとっては育成の延長としての外厩から直接レースに出走できるというのが魅力で、アイルランドやフロリダの2歳戦と同じような役割を担っていて、いずれ大物も期待できそう。ヒカルオオゾラは大活躍のマンハッタンカフェ産駒。昨年このレースを2着してさらに上昇も期待。

## 柏木の単複連

体質が弱かったシンゲンは6歳馬ながら13戦(7105)。休み休みで7勝。平坦新潟とはいえ前走は二千を1分56秒9(日本レコード級)だからすごい。いま本格化。

8⇄12 8⇄11 12→11 8→5 8→7 8→16 8→10

単⑧ 複⑧

## 東京11R TMイチ推し ⑫ヒカルオオゾラ 時計と内容が際立つ 今年も首位争い